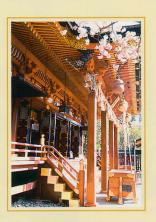
(代号





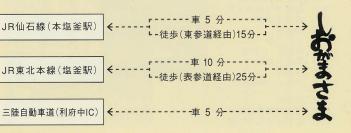














しあわせな家庭と、元気なわが子と……

おごそかな御神域に、拍手の音がこだまする。さまざまな熱い願いが集まる『しおがまさま』。

延喜式内名神大社

志波彦神社(しはひこじんじ

農業守護・国土開発・殖産の神として崇敬されてます。志波彦神(しはひこのかみ)をお祀りしております。鹽竈の神に御協力されたと伝えられる陸奥国百座中の「名神大社」として記載され、平安時代の『延喜式神名帳』(政府の神社台帳)に平安時代の『延喜式神名帳』







鹽竈ザクラは昭和十五年(一九四〇)、国の天 朱記念 勿に旨 定されました。



陸與国一之它

鹽竈神社(しほがまじんじゃ





行があさま

仙

志波彦神社 参拝のしおり

鹽竈神

『千賀の浦(松島湾)』の側の小高い丘『一森山』の地に両社をお祀りし、長い歴史を物語る境内からは、まが、『 i台市の北東約十六km、平安の昔奥州へ下向の都人を魅了し、かの松尾芭蕉も訪れ絶賛した

遠くは牡鹿半島・金華山、近くは「日本三景」の一つ『松島』の島々が望まれます。

キジ・オナガ・ツグミなどの野鳥も多く棲息しております。 また、約二十八分~~(二十七町歩)の境内は、植物の分布上、学術的にも南北植物の限界として重要視され、 松島湾は、暖流と寒流の合流点で、海上の金華山沖は世界三大漁場の一つといわれる魚の宝庫です。 「鹽竈ザクラ」・「多羅葉」など地生・栽植あわせおよそ五百種にもおよぶ植物が繁茂しているほか、

地

四季折々の花々が、荘厳な社殿と美しく調和する『一森山』の御神域を、

!元民は親しみをこめて『お山』と称し、御社名は全国的にも『しおがまさま』と尊称されております。



志波彦神社

社に御治定され、 『延喜式内名神大社』として朝廷 宮城野区岩切)冠川の畔に鎮座され、 思召しにより、 ました。明治四年(一八七一)、国幣中 陸奧国宮城郡岩切村(現在、仙台市 の尊信ことのほか厚いものがあり を兼ねた多賀城国府(九州太宰府 と同等の政庁)に入る交通の要所 当神社は、 東山道より陸奥鎮守府 明治七年(一八七四)、 明治天皇の御



鹽竈神社の別宮本殿に遷祀されました。 御遷座申 治・大正 造営することとなり、 昭和三十八年(一九六三)、神門を含め塩竈市の文化財に指定されました 本殿は三間社檜皮葺き流造、拝殿は銅板葺き入母屋造で ・昭和の神社建築の粋を集めて竣工、昭和十三年(一九三八)、 し上げました。本殿・廻廊・幣殿・拝殿いずれも朱黒極彩色 昭和九年(一九三四)、 その後、国費により社殿を御 現在地に工事を起こし、 明

鹽 竈 神 社

神を祭る料壹萬束」と記され、当 時陸奥国より六拾萬参千束の正税 た『弘仁 当神社は、平安時代初期に編纂され えたことに始まると伝えられます。 神が陸奥国を平定した時に、両神 あり 当神社の創建の年代は明らか に留まり、 の道案内をした鹽土老翁神がこの地 ませんが、 式』の主税帳に「鹽竈 人々に塩づくりを教 武甕槌神と経津主 では

められ、平成十四年(二〇〇二)に本殿以下十四棟の建物と石鳥居一基 構成は、 拝殿の社殿に加え、 朱漆塗銅板葺き入母屋造と好対照なたたずまいを見せております。 き流造、一方、 も三方を勾欄のある縁をまわし、 (一七〇四)に竣工しました。 造営計画をたて工事に着手され、 現在の社殿は、 は正一位を贈られ、明治七年(一八七四)、国幣中社に列格しました。 もに社領・太刀・神馬などを寄進されました。なお、元禄四年(一六九一)に 降明治時代に至るまで、歴代の藩主は、 が徴収されていた時代に、 式年遷宮の制度が設けられ現在に至っております が国の重要文化財に指定されました。 に、南向きの左宮と右宮、松島湾を背にした西向きの別宮の三本殿と二 陸奥国最大の神社として代々の領主の精神的支えとなっていたと思 江戸中期の神社建築としては類例がなく、 特に伊達家の崇敬は厚く、 別宮および左右宮の二棟の拝殿は古風で華やかな様式の 伊達家四代藩主綱村公が元禄八年(一六九五)、 門(唐門)・廻廊・随身門(楼門)が整然とならぶ この様な厚い祭祀料を受けて 別宮・左宮・右宮の三棟の本殿はいずれ 装飾をおさえた木造素木三間社檜皮葺 九年後、 伊達氏が当地を治めた江戸時代以 なお、宝永期以降二十年に一度の 『大神主』として祭事を司るとと 五代藩主吉村公の宝永元年 その歴史的価値が認 いたことが 社殿の さら 知ら

> る籬島(市内新浜町)には、曲木神社をお祀りしておまがきじました。 斎行し、出来上がった荒塩は七月十日の鹽竈神社の例 日にかけ製塩の故事をつたえる『藻塩焼神事…昭和 外の市内本町には、御釜神社・牛石藤鞭社をお祀 ります。なお、籬島は昭和四十一年(一九六六)、塩竈市の 五十四年(一九七九)宮城県無形民俗文化財指定』を 境内には、神明社・八幡社・住吉社・稲荷社、また、境 しております。御釜神社では、毎年七月四日から六



御釜神社

名勝に指定されました。

建造物 文化燈籠·日時計 見ることができます などの文化財を 境内では 0 文治神燈 ほ か に





文化燈籠

文治神

内

0)

物

葉·十月桜·冬山 境内では、国の天然記念物『鹽竈ザクラ』や、中国渡来の蠟梅をはじめ、多羅 椒・紅羊歯・松島笹・赤目樫など珍しい植物が見られます。

●鹽竈ザクラ

鹽竈神社別宮

堀河天皇御製 あけく れにさぞな愛で見む鹽竈の 桜の本に海人のかくれや

古くから歌にも詠まれた著名な桜です。サトザクラ系の 八重桜で、 例年五月初旬に満開になります。

(一九八七)、再び国の天然記念物に指定されました。 当時の樹は枯損して現存しませんが、苗木の育成に努め、 鹽竈ザクラは昭和十五年(一九四〇)、 り、境内の鹽竈ザクラが『鹽竈神社の鹽竈ザクラ』として昭和六十二年 国の天然記念物に 指定されました。 保存処置がみの

●鹽竈神社の多羅葉

近畿以西に自生しており、 モチノキ科に属する亜熱帯植物の多羅葉は、雌雄異株の常緑高木で、主に 昭和四十五年(一九七〇)、 植栽可能な北限地帯でこのような大木は珍し 宮城県の天然記念物に指定されました。



みなと祭













歳旦祭 元始祭 松明祭 節分祭 紀元祭 祈年祭 帆手祭 志波彦神社例祭

花祭

昭和祭

大祓式

みなと祭

御神田御田植祭

牛石藤鞭社例祭

鹽竈神社例祭

曲木神社例祭

御神田抜穂祭

志波彦神社遷座記念祭

藻塩焼神事·御釜神社例祭

1日 3日 14日 2月 立春前日 11日 17日 10日 29日 第四日曜日 29日

1月 5月 6月

7月

30日 4日~6日 第三月曜日

上旬

7日

10日

1日

下旬 29日

9月 10月 11月

12月

10日



鹽竈神社月次祭 29日 志波彦神社月次祭

祈祷·神前結婚式

交通安全・厄除けなどの祈願のほか、神前結婚式を執り行なっております。 安産守護・安産御礼(初宮詣)・延命長寿・海上安全・大漁満足・家内安全・

神 |個人の祈祷=五、〇〇〇円以上の初穂料。 楽 ・祈 祷=別に定める規定により、巫女神楽舞を 奉奏致します。

)神前結婚式 受付で御相談下さい。)団体の祈祷 _ 特別の取扱を致しますから

※御祈願を郵便にてお申込の場合は、 祈祷執行の上神符神饌を送付致します。 (〇二二〇〇一八一八一七四)を御利用下さい。 御送金は現金書留または郵便振替

鹽竈講社は、『しおがまさま』を崇敬され、心のよりどころとして、一年清々し 講社に入講されますと、毎朝神前にて日供を奉り、御家族皆様の家内安全・ いお気持ちで御家族一同健やかに過ごせることを願う皆様の集いです。鹽竈

鹽竈講社

講員皆様の諸願成就特別祈願を執り行ないます。

家業繁栄を祈願致しますとともに、毎年、秋の「講社大祭」に御招待申し上げ、

するおよそ五、○○○点の資料を展示しております。 御神宝類をはじめ、数々の文化財、 鹽竈神社博物館は、氏子三祭で御神幸される神輿や人々の信仰をつたえる 間 覧 時 鹽竈神社博物館 午前八時三十分より 御祭神にゆかりの深い製塩・漁業に関 午後四時三十分まで 午後五時まで 二月・三月・ 十月・十一月 四月~九月

午後四時まで

月・十二月

※年中無休。 休館する場合があります。 但し、展示替えなどの都合により臨時に

大 人 二〇〇円

※特別展の入館料はそのつど定めます。 入 館 料 寸 小学生 中高生 体 一五〇円 二〇名以上割引 八 〇円

